

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	適正処理対策室
	施策	不法投棄の防止		電話番号	087-839-2370
	基本事業	協働・連携による不法投棄防止		事業実施主体	市
	事務事業	高松ふれあいクリーン事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	広く市民、企業やボランティア及び行政が連携して、各クリーン作戦など、市内各所で環境美化活動を行うことにより、清潔で美しい高松を実現するとともに、環境意識の高揚を図る。		
5年度概要	・市内数地区での「不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦」の実施 「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏」事業での事業拡充 ・市内における不法投棄（一般廃棄物）の苦情対応など。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

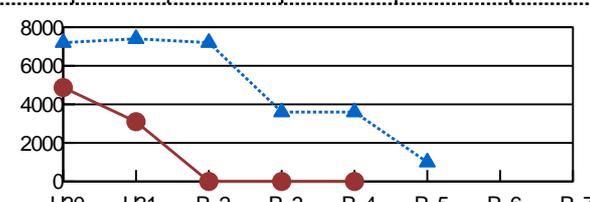
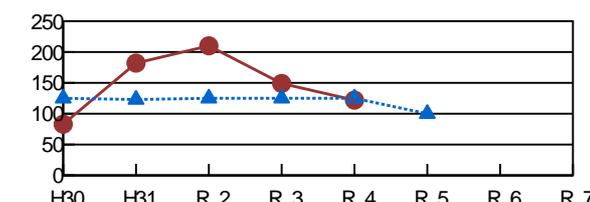
【事業の目的】

対象（何を）	高松市内全域
意図（どのような状態にしたいか）	不法投棄ごみの、市民によるボランティア清掃活動を推進し、不法投棄は犯罪である「地域の環境は、地域で守る」という市民の環境美化意識の高揚を図ることによって、清潔で美しい高松を実現する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦参加コミュニティ協議会	地区	0	0	0	2	8
不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦ごみ回収量	t / 年	0	0	0	10	16

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦参加者数	人	目標値	7,200	3,600	3,600	1,000	4,500
		実績値	0	0	0		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） クリーン作戦については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定されていた5件すべてが中止となったが、これに代わって、地域の一斉清掃として実施した。  （目標達成度）	 （達成度） 0.0% 0点						
不法投棄苦情処理件数	件	目標値	125	125	125	100	100
		実績値	210	149	122		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 不法投棄苦情処理件数について、令和元年度から、香川県の廃棄物不法投棄防止対策事業の一環として、本市域の不法投棄に関する情報提供を受ける取組により、通報・相談件数が大幅に増加した。不法投棄はまだまだ後を絶たない状況であるため、引き続き不法投棄防止に努める必要がある。  （目標達成度）	 （達成度） 102.4% 35点						

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[円]	160	0	208	180
（事業費）	[円]	10	0	58	30
（職員人件費）	[円]	150	0	150	150

【評価】

評価ランク（A～D）	C	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
新型コロナウイルス感染症の影響により、全てのふれあいクリーン事業は中止となった。一般廃棄物を主とした監視パトロール等は、日々行っている。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
新型コロナウイルスワクチン接種の進捗に伴い、今後の事業が正常化することを見込み、各地区の衛生組合や連合自治会と、新たな清掃箇所やボランティア清掃の人員増について協議を行う。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	適正処理対策室
	施策	不法投棄の防止		電話番号	087-839-2370
	基本事業	協働・連携による不法投棄防止		事業実施主体	市
	事務事業	不法投棄防止対策事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	市内全域、特に不法投棄が多く見られる山間地や海岸線などを職員による監視パトロールを実施するほか、不法投棄監視カメラを設置することにより、不法投棄の未然防止に努める。さらに、不法投棄多発重点地区等に看板を立て、不法投棄防止の警告・啓発を行うとともに、不法投棄の行為者の調査・指導を行い、不法投棄されているごみの早期回収に努める。		
5年度概要	市内全域における不法投棄防止監視パトロールの実施や特に不法投棄が多く見られる地域には監視カメラを設置する等、不法投棄防止対策の強化を図る。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市内全域及び不法投棄が見られる地域
意図（どのような状態にしたいか）	不法投棄を防止するとともに、市民の環境美化意識の高揚を図ることによって、清潔で美しい高松を実現する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
不法投棄防止監視パトロール回数	回	139	149	134	130	130

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	不法投棄書類送検件数	件	目標値	19	5	5	5	5
			実績値	23	4	3		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 不法投棄による警察通報数も減り、安心なまちづくりに貢献した。 (目標達成度)							(達成度) 140.0%
								35点
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[千円]	40,845	41,798	40,982	45,582
（事業費）	[千円]	592	1,103	718	5,318
（職員人件費）	[千円]	40,253	40,695	40,264	40,264

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
監視パトロールの強化や不法投棄の多い箇所に監視カメラを設置するなどの不法投棄防止対策を実施したが、不法投棄件数には引き続き、取組を継続していく必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
不法投棄対策については、環境省が作成した罰則を強調した抑止型の看板と市適正処理対策室が作成した対応型の2種類の看板のうち、土地の管理者の要望や意向、また、景観にも配慮しながら、より効果的な看板を設置・提供するなど柔軟に対応していく。また、今年度以降も、不法投棄防止監視カメラの効果的な場所への設置を進める。			